

**AUTOSPORT SPORTKART MEETING**  
**オートスポーツ・スポーツカート・ミーティング**  
**2010年 開催概要**

本大会は開催各サーキット場内規則、本大会特別規則にしたがって開催される

**1、イベント名称** AUTOSPORT SPORTKART MEETING

オートスポーツ・スポーツカート・ミーティング

**2、主催者**

有限会社ケーアールピー 京都市伏見区下鳥羽長田町 161

電話番号 075-612-1191、FAX 番号 075-612-1192

**3、開催の有無およびキャンセル**

雨天決行とする。但し、台風や降雪等主催者が安全でないと判断した場合はレース時間の短縮や中止・順延する場合がある。

【順延の場合】主催者は対象チームの出場枠を確保するものとする。なお、順延した日程に出場できないチームは参加者都合によるキャンセルと扱われ、参加費は返却しない。

【中止の場合】エントリー事務手数料(1000 円)を除き参加費を返却する(下記参照)。返金方法はその都度、連絡をする。但し、参加者都合によるキャンセルは参加費を返却しない。

イベント中止のタイミング	参加費返金の対応
走行が1回も行われていない場合	事務手数料を除いて参加費を返却
レース走行開始後(公式練習を含む)	返却をしない

**4、開催クラス区分**

GT1 2010年AS琵琶湖シリーズ GT1 規則に準拠した参加者持ち込みのカート(但し、美浜戦においては美浜規則に準ずる)

GT2 主催者が用意するレンタルカート

**5、開催サーキット、日程、レース時間、各クラスのグリッド数**

日程	開催コース	レース時間	GT1 グリッド数	GT2 グリッド数
4月25日	琵琶湖スポーツランド	3h	7	28
5月9日	つま恋カートコース	3h	7	28
6月6日	北神戸サーキット	調整中	7	28
6月27日	茂原サーキット(ロング)	調整中	7	28
7月4日	堺カートランド	調整中	7	28
8月1日	オートパラダイス御殿場	調整中	7	28
9月4日	美浜サーキット	調整中	7	28
10月17日	名阪スポーツランド	調整中	7	28
11月21日	琵琶湖スポーツランド	3h	7	28

※レース時間は暫定。主催は上記グリッド数とは別に特別招待枠を設けることがある。

※開催場所により、台数を増減する場合がある。また、2レース開催する場合がある。

## 6、参加資格およびチーム人数

規則・マナーを熟知し、満18歳以上の健康でカートを運転する上で支障のない者。かつ下記の条件を満たす者。

- ・普通自動車運転免許証所持者または主催者が参加を認めた者
- ・1チームの参加人数は2～10名

## 7、参加申込み

原則、レース開催日1か月前の正午12:00より受付を実施する。受付の締切は、レース開催日5日前または各クラス定員になるまで先着順にて行う。参加受付期間が上記と異なる場合は事前に告知する。

専用ウェブサイト(<http://www.sportkart.info>)からリンクされたエントリーシステム(インターネットショッピングのシステムを使用)にて必要事項を記入の上、申込み、クレジットカードでエントリー費用の支払いを行う。先着順に受け付け、支払いが完了したチームには事務局から受理を伝えるメールを送信する。期日前の申込みは受け付けない。クレジットカードでの決済ができないエントリーは自動的にキャンセルされる。

申込枠が完売になった場合、専用ウェブサイト内にキャンセル待ちの窓口を設置する。キャンセルが発生した場合抽選にて販売する。

理由の如何を問わず、エントリーができない場合の抗議は一切受け付けない。

受付後1週間以内に、事務局からのメールに従ってチーム名や出場選手の氏名などを届け出、レース当日の受け付けには、事務局からメール送信する誓約書をプリントアウトの上、参加者全員が署名、捺印して持参すること。

## 8、参加費(1チーム/税込)

GT1 クラス・・・2～3 時間レース 30,000 円、4～5 時間レース 35,000 円

GT2 クラス・・・2～3 時間レース 50,000 円、4～5 時間レース 60,000 円

## 9、GT2 クラス参戦車両の決定

主催者により決定される。体格により車両が制限される場合がある。その場合、参加者の体格への適合が優先される。

## 10、スターティンググリッドの決定

先頭は GT1 クラス。GT1 クラス最後尾後方に GT2 クラスの先頭から整列する。

GT1 クラス・・・すべて抽選

GT2 クラス・・・すべて抽選

## 11、ドライバー装備

レーシングカート用スーツもしくは4輪レース用レーシングスーツもしくはメカニックスーツ(厚手の布つなぎ)を推奨。

長袖・長ズボンの場合は、車両への巻き込み対策・風圧で暴れないようしっかり止めてあること。

ヘルメットはフルフェイスタイプを必須(ジェット型や半帽不可)とし、くるぶしまで覆う靴、滑り止めの着いた手袋(軍手可)、を着用すること。

※装備品は参加者で準備すること。

※ナイター照明を使用する夜間のレースにおいては、照明が点灯された時点からスモークシールド(ライトスモーク含む)の使用を禁止する。反している場合にはオレンジボール旗が当該ドライバーに提示される。

※イベント開催中いっさいの無線の使用を禁止する。走行中の携帯電話の使用は禁止とする。

※ティアオフシールド(捨てバイザー)の使用は許可する。ただし、走行中に取り外すことは禁止され、風圧等で外れないような措置を施すこと。

## 12、レース方法

スタートから所定時間内の周回数で順位を争う。チェッカーフラッグを受けることを優先し、ピットおよびコース内外で停止してチェッカーフラッグをコース上で受けられない場合でも完走扱いとする(ピットロードを走行していてもチェッカーを受けたとみなされる)。同一周回の場合にはチェッカーを早く受けたチームが上位と認定される。決勝中のドライバー交代は別途定める

回数をクリアすれば自由。

### 13、スタート方法

スタート5分前までに全車コース上グリッドへ整列する。スタート1分前に全車エンジンを始動し1周のフォーメーションラップを行う。全車がグリッドへ整列後、シグナルレッド点灯から消灯でレーススタートとする。GT1クラスとGT2クラスはクラスごとにグリッドに整列する。スタート方式はスタンディング方式とする。また、サーキットによりフォーメーションラップ無しのル・マン式スタートを採用する場合がある。

- ・スタート5分前までにグリッドに整列できない場合にはピットスタートとなる。
- ・グリッドでエンジンが始動しない等のトラブルが発生した場合にはピットスタートとなる。
- ・フォーメーションラップ中にトラブルやスピン等で停止した場合には、スタートが優先され停止した車両はコース上で安全に待機し、セーフティーカー介入後に回収すること。
- ・ル・マン式スタートを採用する場合は、当日のブリーフィング時において運用などを案内する。

### 14、ペナルティ

レース中は本規則が適用され、それに違反した者はピットストップペナルティ(1分間)の対象となる。また、重大な危険行為の場合は、失格になる場合がある。具体的な行為によるペナルティは下記の通り。

- 1)スタート時のフライング
- 2)イエローラインカット
- 3)与えられたフラッグサインの無視
- 4)ピットロードシケインのパイロンタッチ
- 5)プッシングおよびブロッキング(主催者判断による)
- 6)ピットロード徐行違反(ピット入口付近含む)
- 7)ドライバー交代時、エンジンストップ義務違反
- 8)無断セッティング変更
- 9)その他、主催者が判断した場合

※警告ペナルティは主催者・オフィシャルの判断による。

※参加者は主催者・オフィシャルの判定には抗議を行うことができない。

### 15、ピットロードの走行

ピットロードの通過に際しては最徐行しなければならず追い越しも禁止される。作業エリアを走行してはならない。速度違反、走行区分を違反した場合にはピットストップペナルティが課せられる。

※徐行とはすぐに停止できる速度のことを指し、主催者・オフィシャルが判断するものとする。

### 16、ペナルティ提示方法

ペナルティの対象となる違反が発生した場合はコース上メインポストから“黒旗”と“ゼッケンNo”を提示する。提示されたカートは速やかにピットインしペナルティエリアで1分間のストップ、もしくは失格が命じられる。ピットストップペナルティの場合1分後オフィシャルの指示で再スタートできる。

※ペナルティストップでピットインの際は、ドライバー交代を含む他のすべての作業は行えない。

### 17、ドライバー交代

レース中のドライバー交代は全チーム主催者が定めた場所で行う。

ドライバー交代時は必ずエンジンを停止する。

ドライバー交代の回数は下記のように規定する。

- 2時間レース →8回以上
- 3時間レース →10回以上
- 4時間レース →12回以上
- 5時間レース →14回以上

各クラス、規定回数を満たさない場合には、失格とする。

ドライバー1名当たりの走行時間制限はないが主催者判断で安全でないと判断した場合には、ピットイン命令が出される場合がある。

## 18、ピット作業(給油)

1)給油は給油指定場所にて行う(3時間以上のレースの場合)。

給油方法や給油量は大会前に告知される。

給油時にはドライバー交代を義務とする。

GT1クラスの燃料は各チームが現地で購入すること。

GT2クラスの燃料については、主催者準備とし給油所にて配給する。

給油の際はチーム内で消火器をいつでも使用できる体制で給油すること。

給油所で給油できる台数は各主催者によって決定される。

2)スタート時

各クラス、主催者が発表する量でスタートする。

## 19、リペアエリア設置(GT2クラスのみ)

レース中、接触やコースアウト、不慮のトラブルでカートが破損した場合にはリペアエリアを設け、専任のスタッフにより修理を行うものとする(チーム内で修復作業が行える場合はリペアエリア内で修理を行うことは可能。ただし、修理以外の作業は禁止)。

複数のカートが重複した場合はリペアエリアに到着した順番に優先する。

よって、軽度な修理でも順番待ちが発生する可能性がある。

原則として車両交換は行わず修理を行うものとする。

ただし、修理不可能な場合にはスペアカートに変更することが認められるが、操作ミス等で破損しスペアカートを使用した場合には有料(25,000円)となる。

※メンテナンスについては十分に行っておりますが、2時間以上のレースともなると予想できないトラブルが発生することがあります。ご理解ください。また、車両の破損が有る場合は、修理費用を頂きます。

## 20、セーフティーカーおよびフルコースコーション

コース上でのストップ車両が発生した場合、セーフティーカーが介入する。セーフティーカーがコースイン後、原因車両は自走してピットへ戻ることを禁止する。

セーフティーカー介入決定後、直ちに全ポストは黄旗、メインポストは「SC」ボードを提示しセーフティーカーが先頭に関係なくコースインする。すべての車両はセーフティーカーを先頭に1列に整列しなければならない。その際の追い越しは禁止する。ただし、トラブルにより隊列について行けない場合は、片手を上げ、後続に合図しながらラインを外すこと。フルコースコーション中にピットインは可能とし、ピットアウトについてはオフィシャルの指示に従うこと。セーフティーカーがピットインし、メインポストで緑旗が提示されたら、コントロールラインよりフルコースコーションは解除される。その際、コントロールライン手前での追い越しは禁止される。

## 21、賞典 (GT1クラス・GT2クラスは別賞典)

1位:トロフィー、シャンパン、賞品、副賞 AS シリーズ優勝者ステッカー

2位:トロフィー、シャンパン、賞品

3位:トロフィー、シャンパン、賞品